

はじめに

本書は初めて日本語を学ぶ学習者が、限られた時間の中で、楽しく、効率的に日本語を学習できることを目指した教科書です。

初級学習者のニーズを念頭に、日本語で自分を語れるようになること、話す相手・状況を考慮して会話ができるようになることを意識して作成しました。最終的には、教科書の中だけでなく、教室の友達や実際の生活の場で接する日本人との関係を築けるような日本語の習得を目指しています。

それぞれの練習は現実の場面を想定して構成し、基本的な練習であってもその学習した日本語が日々の生活で使えるように作成しました。また、文化や地理などについて知る喜びも得られるように、内容を十分吟味しました。

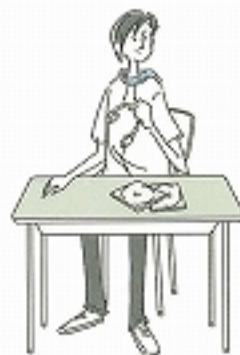
本書は企画から完成まで5年の歳月をかけ、6回の使用を経て完成しました。その間、試行版イラストをおかきくださった高村郁子さん、岡部朝子さん、ご協力いただいた白井香織さん、本間清子さん、アジア学生文化協会日本語コースおよび東京大学工学系研究科日本語教室の学生の皆さん、また貴重なご意見をお寄せくださった先生方にこの場をお借りして感謝の意を表したいと思います。

2008年9月 山崎佳子
石井怜子
佐々木薫
高橋美和子
町田恵子

もくじ

はじめに

お使いになる先生方へ	(2)
本書の構成	(6)
各課の構成	(7)
凡例	(8)



ひらがな　片仮名 平仮名・片仮名 カバー裏

CD
01

とうじょうじんぶつ 登場人物 (10)

はじめましょう (12)

02

1 わたしは リン・タイです	1	会話 03 練習問題 04
2 それは なんの CD ですか	7	会話 05 練習問題 06
3 ここは ゆりだいがくです	13	会話 07 練習問題 08
4 あした 何を しますか	19	会話 09 練習問題 10
5 シドニーは 今 何時ですか	25	会話 11 練習問題 12
6 京都へ 行きます	33	会話 13 練習問題 14
まとめ 1	39	
7 きれいな 写真ですね	41	会話 15 練習問題 16
8 富士山は どこに ありますか	47	会話 17 練習問題 18
9 どんな スポーツが 好きですか	53	会話 19 練習問題 20
10 わたしは 渡辺さんに お茶を 習いました	59	会話 21 練習問題 22
11 東京と ソウルと どちらが 寒いですか	65	会話 23 練習問題 24
12 旅行は どうでしたか	73	会話 25 練習問題 26
まとめ 2	79	

13 何か 食べたいですね	81	会話 27 練習問題 28
14 わたしの 趣味は 音楽を 聞く ことです	87	会話 29 練習問題 30
15 今 ほかの 人が 使って います	93	会話 31 練習問題 32
16 ちょっと 触っても いいですか	101	会話 33 練習問題 34
17 あまり 無理を しないで ください	109	会話 35 練習問題 36
18 相撲を 見た ことが ありません	117	会話 37 練習問題 38
まとめ 3	123	
19 駅は 明るくて、きれいだと 思います	125	会話 39 練習問題 40
20 これは 彼女に もらった Tシャツです	131	会話 41 練習問題 42
21 雨が 降ったら、ツアーは 中止です	137	会話 43 練習問題 44
22 食事を 作って くれました	143	会話 45 練習問題 46
まとめ 4	149	

かんまつ
巻末

1. 資料	152
2. 索引	161
3. 学習項目一覧	181
4. インフォメーションギャップ	186
5. チャート	199

お使いになる先生方へ

I. 本書の目指すもの

本書は成人学習者を対象にした日本語初級テキストです。文法・文型の基礎固めはもちろん、運用力養成、つまり学習者が「使える」ようになることをを目指しています。

学習者が自分で考え、自ら発信できるようになることを期待しています。

II. 本書の特徴

1. イラストの多用

日本語が使われる状況や場面を可能な限りイラストで表し、学習者が状況や場面をイメージしやすいように配慮しました。代入練習の代入肢などもイラストで表してあるため、意味をしっかりと認識しながら口頭練習を行うことができます。

2. 練習問題の多様性

基本的なドリルのほかに、インフォメーションギャップ、インタビューとその発表、スピーチ、ストーリーテリング、読解、作文など多様なタスクを数多く取り入れました。したがって、本書1冊で運用力をつける練習までを行うことが十分可能です。

内容の面でも、日本の文化・社会・生活情報に触れる練習を意識的に取り入れました。

3. 練習問題の特徴

- 1) 場面を重視し、必然性のある発話ができるように配慮しました。
- 2) 14課以降で「友達の会話」として、積極的に普通体を取り上げました。これによって、実際の生活の中で聞く日本語と教室内の日本語を初期の段階から一致させることができます。
- 3) ほぼすべての課の終わりには「使いましょう」を設け、既習文型を組み合わせた複合的な練習ができるようにしました。まとまりのある文の読み書きや発表などを通じて、自分のことを自分の言葉で発信できるような仕組みとなっています。

4. 文型・語彙

- 1) 本書の学習により、基本的な文型 88、語彙約 1,100 語の習得が可能です。
- 2) 語彙については日常生活で使用頻度が高く、汎用性のあるものを使用するよう心がけました。
- 3) 成人学習者が日常生活を営む上で必要と思われる抽象的な語彙を使用しています。

5. 表記

- 1) 「はじめましょう」と 1 課から 3 課までは学習者の負担を考慮して、すべて仮名表記にし、4 課から 22 課までは日常目に触れる日本語を学習させるという視点から、常用漢字を使用した漢字仮名交じり文にしました。ただし、学習者の利便性を考慮して漢字にはすべてルビを付けました。
- 2) 各課 2 ページ目の一部・イラスト中の一部の文字・および活用表は仮名表記としました。

III. 使い方

1. 留意点

- 1) 「はじめましょう」について

1 課からの学習を始めるまえに、必要に応じてお使いください。ここに提出されている語彙は学習する語彙として扱っていません。

- 2) 練習問題について

練習するまえにイラストの中の語彙を確認してください。イラストを見て答える問題では答えは一つとは限りません。学習者の豊かなイマジネーションを尊重してください。別冊の解答を参照してください。

- 3) 自由解答（　　）について

学習者の自由な解答を期待して、練習の随所に（　　）を使いました。ぜひ学習者の自発的な発話を促すようにしてください。

- 4) インフォメーションギャップの練習について



マークのあるものはインフォメーションギャップを利用した練習です。練習用シートのうち 1 枚は本文該当ページにあり、もう 1 枚は巻末にあります。学習者をペアにして別々のページを見せて練習を行ってください。

5) 練習の確認について

口頭練習だけでは正確に知識が定着しているか判断が難しいので、練習の最後には書かせるようにしてください。

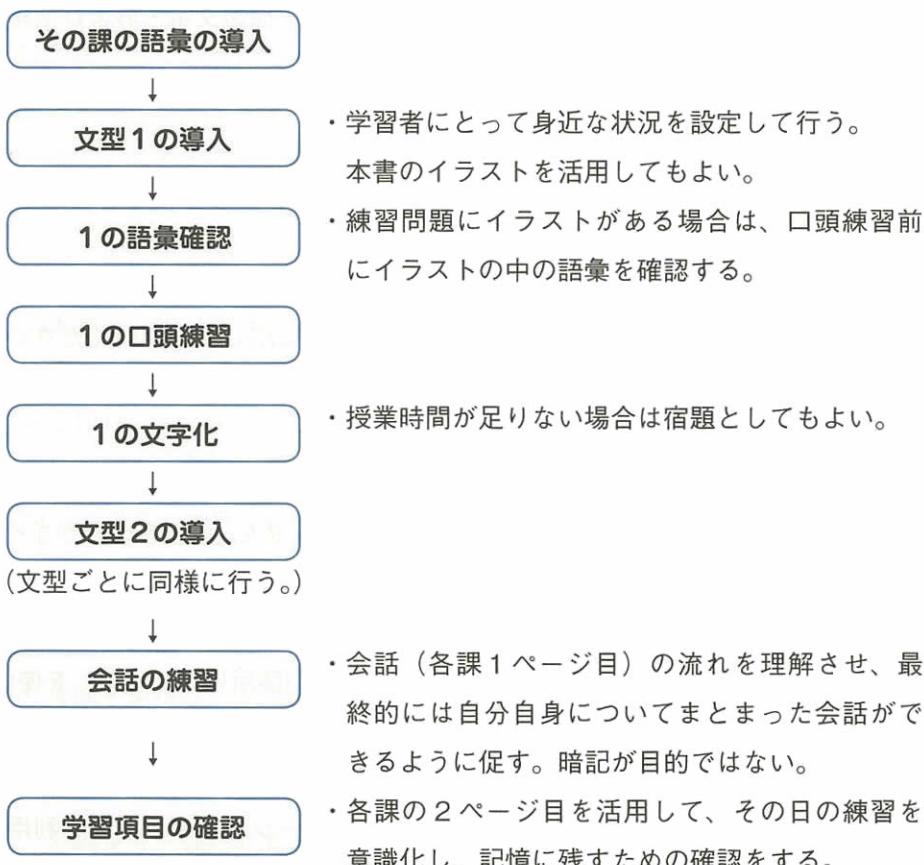
6) 読解と作文について

練習問題には随所に短い読解文を入れました。そのテーマを使って作文につなげることもできます。

2. 標準所要時間

1 課当たり 5 から 6 時間程度、本書を終えるのに 100 から 120 時間を目安としてください。

3. 授業展開例



4. 周辺教材について

以下の教材について発行が予定されています。本書と併せて、それぞれの機関の学習時間やコースに合わせて活用してください。

1) 『文型説明と翻訳』

課ごとに「会話」「語彙」の翻訳、「文型説明」、「言葉と文化情報」があります。

2) 『基礎問題集』

本書の学習項目・語彙に準拠した各課対応の問題集です。

本書の構成

カバーの裏	平仮名・片仮名
見返し	日本地図（本書に現れる地名と関連情報イラスト）
はじめましょう	あいさつ、数字・時刻、教室用語
1～22課	
まとめ1～4	その課までの学習項目のまとめの問題
巻末資料	資料（助数詞等の一覧）、索引、学習項目一覧、インフォメーション ギャップ、チャート（動詞48、形容詞20、名詞4）
別冊解答	各課の練習問題の解答
CD	会話と練習問題の例を収録

各課の構成

- P.1 会話 その課の学習項目を使った会話。
- P.2 文型提示 該当課の学習項目の提示。文の構造が分かりやすいように図式化。
各番号に対応する練習問題がある。ただし、下の「①②③」の数字
が付いた例文にはその項目だけに対応する練習問題はない。
- P.3 以降
- 練習問題 P.2 の文型に対応した練習問題。1-1、1-2 は 2 ページ目の文型 1 の
練習問題であることを示す。練習問題は基本練習・運用練習の順に
配した。紙面の都合で基本練習だけの文型もある。
- 友達の会話 主に普通体を紹介するための練習問題で、相手の年齢、親疎や社会
的地位を意識したものも含む。
- 使いましょう 既習学習項目を含めた総合的な練習。

凡例

I. 記号の意味

1. 文型ページ

- 1) [] 文中に例を2つ以上提示していることを表す。
直接活用にかかる部分のみ仮名表記（名詞は漢字）。
- 2) 青字 文型のポイントを表す。
例) [晩ご飯を たべて] から
[宿題を して]
- 3) [] 疑問詞を表す。仮名表記。
[] 疑問詞に対応する解答部分を表す。仮名表記。
例) A : アンさんは [なに] を ^た食べますか。
B : [パン] を 食べます。
※Bの空白部分は主語「アンさん」の省略を表す。
- 4) * 活用に例外がある語を表す。

2. 練習問題の記号

- 1) () 自由解答部分を表す。
- 2) _____ イラストや文字で指定された代入部分を表す。
- 3) A
 (はい)
 (いいえ)
 ↓
 B 1 B 2 会話の流れが2種類想定される場合は[B 1][B 2]などと表す。
- 4) / 同じ意味で別の言い方がある場合に用いる。
例) はい、学生です。/はい、そうです。
- 5) インタビューのタスクであることを表す。
- 6) インフォメーションギャップを使用したタスクであることを表す。ペアの学習者が、異なる情報を持ってお互いに相手の情報について聞く練習。ペアの一方の情報は巻末にある。
- 7) 発表のタスクであることを表す。
- 8) 書くタスクであることを表す。
- 9) 友達同士の会話であることを表す。
- 10) 話している内容を表す。

- 11)  書かれたものであることを表す。
- 12)  上の練習問題のイラストを参照して答える問題であることを表す。
- 13)  選択肢であることを表す。

II. 文法用語

本書では以下の文法用語を使用した。

名詞・動詞・形容詞・い形容詞・な形容詞

ます形・辞書形・て形・ない形・た形・丁寧形・普通形

とうじょうじんぶつ 登場人物

がくせい 学生

キム・ヘジョン

(韓国)



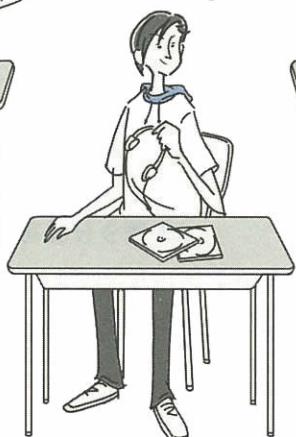
ポン・チャチャイ

(タイ)



トム・ジョーダン

(カナダ)

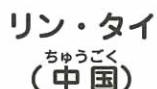


マリー・スミス

(オーストラリア)

リン・タイ

(中国)



せんせい
先生

じ む いん
事務員



すずき きょうこ
鈴木 京子
(日本)

たなか まさお
田中 正男
(日本)

かんりにん
管理人



いわさき いちろう
岩崎 一郎
(日本)



きむら はるえ
木村 春江
(日本)



きむら ひろし
木村 洋
(日本)



わたなべ あき
渡辺 あき
(日本)



レ・ティ・アン
(ベトナム・エンジニア)



アラン・マレ
(フランス・銀行員)



ホセ・カルロス
(ペルー・会社員)

6

きょうと
京都へ 行きます

6

CD-13

田中：マリーさん、今度の週末何をしますか。

スミス：京都へ行きます。

田中：いいですね。わたしも高校生のとき、行きました。

京都で何をしますか。

スミス：友達に会います。それから、お寺で日本料理を食べます。

田中：いつ帰りますか。

スミス：日曜日の夜帰ります。

1. わたしは [ロンドン]へ 行きます。
[銀行]

A : 午後 [どこ]へ 行きますか。

B : [ぎんこう]へ 行きます。

2. わたしは [3月 30日]に 日本へ 来ました。
[去年]

A : リンさんは [いつ]に 日本へ 来ましたか。

B : [3がつ 30にちに] 来ました。

3. わたしは バスで 大使館へ 行きます。

A : リンさんは [なん]で 大使館へ 行きますか。

B : [バス]で 行きます。

4. わたしは 田中さんと 病院へ 行きます。

A : リンさんは [だれ]と 病院へ 行きますか。

B : [たなかさん]と 行きます。

5. A : 一緒に [朝ご飯を たべ] ませんか。
[ジョギングを し]

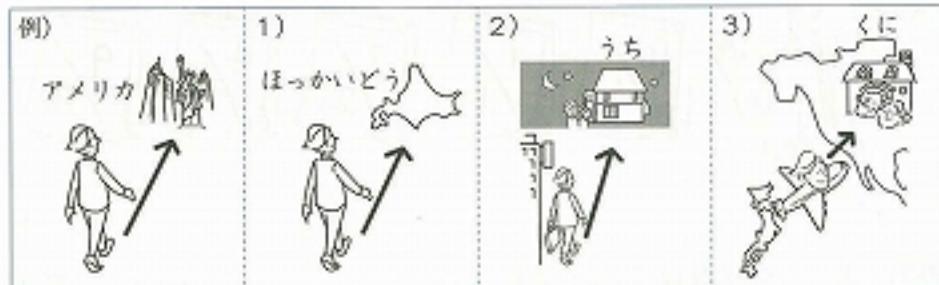
B 1 : ええ、いいですね。

B 2 : すみません。ちょっと……。

① どこへも 行きませんでした。

CD-14

1-1. アメリカへ 行きます。



6

1-2.  P.191

例) 月曜日 どこへ 行きましたか。



郵便局へ 行きました。

例)	郵便局
火	1)
水	2)
木	3)

例)	郵便局
金	4)
土	5)
日	6) ()

2-1.  A:(B)さん、誕生日は いつですか。 B:(3月4日)です。

(B)さん	()さん	()さん	()さん
例) 3/4	1)	2)	3)



2-2. トムさんは 10月1日に 日本へ 来ました。



例) トム	1) アン	2) キム	3) ポン	4) アラン

6

2-3. A: いつ 大使館へ 行きますか。

B: 4月26日に 行きます。

- 例) 4/26 1) あさって 2) 来週
3) 来月 4) 午後 3時



2-4. A: (B)さん、お国は どちらですか。

B: (中国)です。(北京)から 来ました。

A: いつ 日本へ 来ましたか。

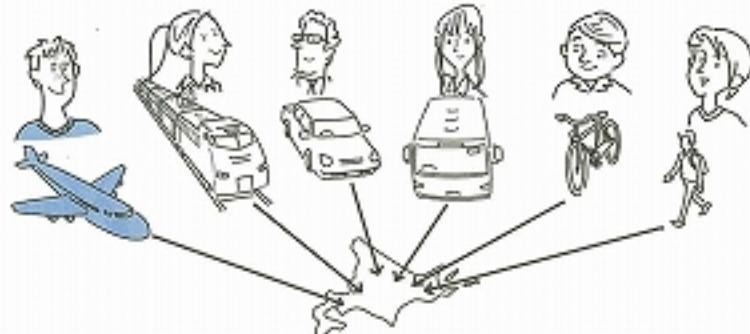
B: (3月30日に/去年) 来ました。



例) (B)さん	中国	3/30
1) ()さん		
2) ()さん		
3) ()さん		

3-1. トムさんは 飛行機で 北海道へ 行きます。

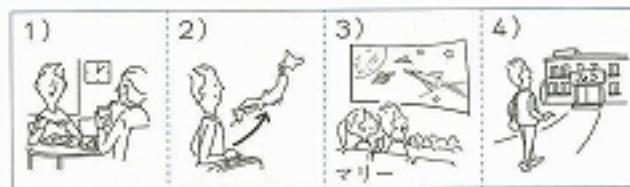
例) トム 1) マリー 2) アラン 3) キム 4) ポン 5) リン



- 3-2. A: (B) さん、何で 学校へ 来ますか。
 B: (地下鉄で) 来ます。

(B) さん	() さん	() さん	() さん
例) 地下鉄	1)	2)	3)

- 4-1. A: だれと スーパーへ 行きましたか。
 B: 友達と 行きました。



6

- 4-2. ☺

わたしは 週末 (動物園) へ 行きました。(友達と)
 (電車) で 行きました。 (動物園で パンダを見ま
 した。) (動物園の レストランで カレーと サラダ
 を 食べました。) (9時ごろ うちへ 帰りました)。



5.

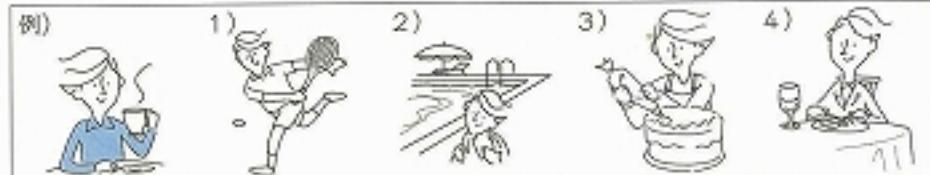
A: 一緒に お茶を 飲みませんか。

はい

いいえ

B 1: ええ、 いいですね。

B 2: すみません。 ちょっと……。



24 使いましょう 

A : 夏休み 何を しますか。

B : 友達と 大阪へ 行きます。

A : いいですね。何で 行きますか。

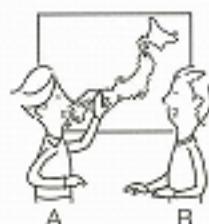
B : (バスで) 行きます。

A : 大阪で 何を しますか。

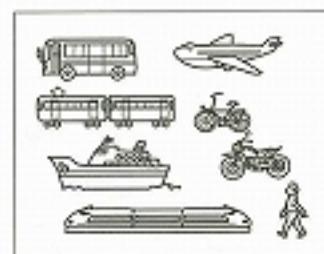
B : (大阪城を 見ます)。(A)さんは?

A : わたしは(名古屋へ 行きます)。

B : そうですか。



6



7) おきなわ



(B)さんは 夏休み (友達と バスで 大阪へ) 行きます。

(大阪で 大阪城を 見ます。)

わたしは(名古屋へ 行きます)。